

【月刊HMレポート：Vol. 283】 2025年4月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



経営者が集う勉強会で話題になった

## 成果を出す組織が持つ今日的なイメージ

◇◆◇ キーは“小さな改善”の蓄積姿勢にある ◇◆◇

### ◆本レポートの内容◆

- |                          |    |     |
|--------------------------|----|-----|
| 【1】問題提起型の“勉強会”で始まった意外な展開 | …… | 1 頁 |
| 【2】成功体験の共有だけでは危険が高まりやすい？ | …… | 2 頁 |
| 【3】失敗には“失敗にしかない大事なもの”がある | …… | 3 頁 |
| 【4】持続的な改善や進歩が欠かせない今日的な経営 | …… | 4 頁 |
| 【5】大変革を狙う前の“小さな改善”蓄積の重要性 | …… | 5 頁 |

事業の“成長”にせよ“防衛”にせよ、あるいは“改革”や“変革”にせよ、その目標を的確に実現できる組織は、今“どのような視点”で“どう活動”しているのでしょうか。

個々具体的には、様々なケースがあり得るでしょうが、『その神髄にあるものが、ある勉強会で浮き彫りになった』と言う経営者がおられます。しかも、その勉強会では、“成功”よりも“失敗”や“不都合”への注目が重要視されたそうなのです。詳しくは、レポート本文でご確認ください。



## SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : [info@jinjiken.co.jp](mailto:info@jinjiken.co.jp)

- ◎ SPC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108  
◎ jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。